

ピアノ・ヴァイオリンコンサート

日時：8月13日（火）13：30～

場所：県立病院1Fエントランスホール

演奏者：間脇 佑華（ヴァイオリン）、大石 綾乃（ピアノ）



演奏曲目：愛の挨拶、タイスの瞑想曲、君をのせて

サマー、You raise me up他

（注）曲目は変更になる場合がございます。

【プロフィール】

間脇 佑華（ヴァイオリン）福井市出身

東京音楽大学器楽科ヴァイオリン専攻を卒業後、チェコ・プラハ音楽院に留学。

ダナ・ブラホバー氏の元で研鑽を積む。第7,8回彩明ムジカ コンコルソ コンクール 読売賞、入賞。

留学中、プラハユース室内アンサンブルメンバーとして、ヤングプラハ国際音楽コンクール金賞受賞。

昨年6月に自身初となるプラハでのソロリサイタルを開催。また帰国後は2月に東京、6月に福井でのリサイタルが好評を博す。

自主企画のコンサートも精力的に行い、留学中に会った友人達と ctyleftek を結成し、名古屋・東京公演を成功させた。またヴァイオリンとピアノデュオ mistral cafe では、東京を中心にクラシックライブハウスでのライブや慰問演奏等、幅広い活動を行っている。

大石 綾乃（ピアノ）福井市出身

お茶の水女子大学音楽科卒業、同大学院修了。

大学院修了後は同大学同学科でピアノ専攻の助手として5年間後進の指導にあたる。2004年イギリスのダーティントン夏季音楽祭に参加、2005年には夏季ローザンヌ・音楽アカデミーのオーディションに合格しB. カニーノ氏、P. アモイヤル氏に室内楽を師事するなど研鑽を積む。

ソロの他、アンサンブルのコンサートピアニストとしての活動も多く、特に声楽とのアンサンブルにおいて高い評価を受けている。近年は豪華客船（ふじ丸、にっぽん丸等）での演奏活動も多く行っている。2011年には初のリサイタルをハーモニーホールふくい、すみだトリフォニーホール（東京）で実現。2013年1月には2回目のリサイタルを東京オペラシティリサイタルホールで行い好評を博した。宇野美千代、相田由美子、故・遠藤秀一郎、小坂圭太、各氏に師事。